

## Dr. 笠井の初診所見

### チェックの結果

1、4が難聴の徴候あり、2、3、5、6がある  
と突発性難聴の可能性あり。

「突然、片耳に耳鳴りを感じ、

そのうち治るだろうと仕事を  
続けていたら、回転性のめまい  
が始まった。内科を受診して薬  
を飲んだがめまいは2、3日続  
き、軽い耳鳴りが続いたまま聞  
こえも悪くなり、数日後また受  
診すると“突発性難聴”の診断  
を受けた」。これは、突発性難  
聴の典型的なケースです。

突発性難聴は、感音難聴とい  
われる神経性難聴の1つで、中  
でも治療ができる数少ない疾  
患です。ただし発症後、遅くて  
も2週間以内、出来れば1週間  
以内に治療を始めるのが望ま  
しく、1カ月を過ぎると改善の  
見込みがほとんど無くなりま  
す。原因はまだ特定できていま  
せんが、発症の要素には睡眠不  
足、疲れ、心身のストレスの重

なりなどが考えられます。

治療法はステロイド剤やビ  
タミン剤の内服が中心で、血液  
の循環を良くして炎症を抑え、  
弱っている神経機能の改善を  
目的に行われます。薬は決めら  
れた時間に決められた量を確  
実に内服することが、回復への  
近道です。重度の場合は入院が  
必要です。また回復しても、ま  
れに聴神経腫瘍やメニエール  
病などほかの病気が隠れてい  
るケースもあり、治療後も定期  
的な聴力検査を受けることが  
大切です。

日頃からストレスやイライ  
ラの原因を避けて安静を保ち、  
耳に不快感や聞こえづらさを  
感じたら早めに耳鼻咽喉科で  
受診しましょう。



監修

笠井 創

かさい はじめ

千葉大学医学部大学院卒  
(医学博士)。国保君津中央病  
院耳鼻咽喉科医長、国立がん  
センター病院頭頸部外科医  
員、国家公務員等共済組合連  
合会／横須賀共済病院耳鼻  
咽喉科医長、千葉大学医学部  
耳鼻咽喉科非常勤講師兼任  
を経て、耳鼻咽喉科気管食道  
科笠井クリニック(横浜)開設、平成11年に笠井耳鼻咽喉  
科クリニック・自由が丘診療  
室開設、現在に至る。

◎笠井耳鼻咽喉科クリニック 自由が丘診療室 〒152-  
0035 目黒区自由が丘1-29-14  
Jフロンビル3F

☎03・5729・4187